

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

**新年明けましておめでとうございます。**

**本年もどうぞよろしくおねがいます。**

**株式会社火の魂カンパニー 代表取締役 野沢賢司**

ついに2022年が始まり新しい年となりました。

去年はコロナ真っ只中で、初詣や人と集まる機会も自粛して静かな正月を過ごした人も多かったと思います。本来であれば1年で1番お客様が来客される年末年始を、人の動きがなく、創業して過去最低のお客様の数で不安になっていたのを思い出します。

今回の年末年始は、コロナが落ち着き人の動きもあり、去年とは違い過去最高の来客数があり、対応に追われる店舗も多かったと思います。

ですが、どの企業にも1番の繁忙期があるように、我々火の魂カンパニーは年末年始が1番忙しく、それを乗り越えた社員たちはひと回り大きく成長できた事でしょう。

特に、去年入社した新入社員や一昨年入社した2年目の社員はコロナ禍に入社してきたので、ここまで忙しい経験をするのは初めてだと思うので、肉体的にも精神的にも余裕がない状態だったでしょう。ですが、世の中はこれが今の普通だと言うことをよく理解してほしいです。コロナ禍を医療従事者の労働で乗り越え、スーパーや小売そして薬局なども過去に類を見ないくらい忙しい時があったし、今度はこれまで自粛されていた業界が忙しくなるので、相対的に見たらどの業界も人の動きが急激に始まり、需要と供給のバランスが合わずに、イベント業界、旅行業界、飲食業界は特に年末年始は過去最高に忙しかった期間でした。逆を言えばこれ以上に一気に人が動く経験をできる機会は、あまりないので今回を乗り越えた人たちは、長い人生を考えると良い経験をできた人達だとも言えます。そしてこれから日本社会の経済活動が動き始めます。この動き出す時に「活躍のチャンス！」挑戦の機会だと前向きに当事者意識を持つ事を考えられるか？それとも社会経済が動き出す時に後ろ向きの被害者意識で他人や環境に言い訳をして活躍の機会を逃すか？この差は今後の人生を決めてしまうくらい、大きな人生のターニングポイントになると言っても過言ではありません。それくらい火の魂カンパニーもコロナ禍で会社を飛躍的に強く成長させる機会を、コロナが落ち着く「今」に標準を合わせてきました。

社員の皆さんには、どうか「今」からを、前向きに当事者意識を持ち、時代が変わるタイミングである2022年を「できない理由を述べる人」ではなく、「どうやったらできるか？」を語りながら、飛躍のタイミングに「私」と共に挑戦して、火の魂カンパニーの中核に入れるように「私がやる！」と心に決めて2022年を挑んでほしい。

2022年の貴方の挑戦が私の力になり、火の魂カンパニーを飛躍させます。

火の魂カンパニーが求める人物像である「明るく素直で前向きな」言葉動作表情である日頃の「姿勢」を今一度見直して、役職や年功にとらわれず社員を代表する人物像を目指し関わる人に「良い影響を与える」存在に「あなた」がなっていきましょう。

2022年もどうぞよろしくおねがいます！

株式会社 火の魂カンパニー 代表取締役 野沢賢司